

四号福生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例は委員会議
査報告とあり不決を申し渡した。

○議長（末次性男君） 日程才四議案才十六号昭和四十六年度福生市
国民健康保険特別会計補正予算才三号を議題といたします。
本案については厚生委員会に審査を付託してありますので
委員長の報告を願います。 厚生委員長（関米吉君）

（厚生委員長 関米吉君 登壇）

○厚生委員長（関米吉君） 議案才十六号について審査報告を申
しあげます。

（議案審査報告書朗読） 省略

続きまして補正説明をさせていただきます。

冒頭市民課長より次のとおり説明が行なわれました。

今回の補正は前回の補正時より被保険者が七百七十三人増加し

たことにより保険料の二百五十三万一千四の増がその主なものであり、

そのほかは国及び都からの補助金等が今次補正の才入源であって

才生におきまして二月における医療費の改訂にもなる医療給付は貴
等が補正の大きな理由である。 ところで才入才出各項目について

詳細なる説明がありついで質疑に入りまして、 各委員とも特

別なる質疑もなく。 委員中より本補正予算案は被保険者

の増加にもなるようである。特に年度末をいふえて極力即

決の方向に努めてもらいたい旨の意見があり、 採決の結果本

予算案は全会一致原案とあり不決すべきものと決定した次

才でござります。

休とて本委員会の決定とあり、ご不決あらんことをお願いいた
しまして補正説明にかえさせていただきます。

○議長（末次性男君） 以上で委員長長の審査報告は終了しました。

このより委員長報告に対する質疑を行ないます。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（末次性男君） 以上で質疑を終ります。

○四番（田村市郎君） この際動議を提出いたします。

ただし議題となっておりません。議案才十六号については討

論を省略し委員会報告とあり決定されんことを望みます。

(「賛成」と呼ぶ者あり)

○議長(末次性男君) おはかりいたします。ただいま田村市郎

君から所定の賛成者を得て本案は討論を省略し委員会報告とあり可決されたい旨の動議が提出されましたが、本動議のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(末次性男君) ご異議なしと認めます。よって議案第

十六号昭和四十六年度福生市国民健康保険特別会計補正予算才三号は委員会審査報告とあり可決いたしました。

○議長(末次性男君) 日程才五議案才十八号昭和四十七年度福生市一般会計予算を議題といたします。

本案については三常任委員会及び体育館建設特別委員会に付託されており、各委員長より順次報告願います。

最初に総務委員長森田秀雄君

(総務委員長 森田秀雄君 登壇)

○総務委員長(森田秀雄君) (議案審査報告書朗読) 別添参照。続きまして本案審査について補足説明を申しあげます。本案審査に先き、最初に才八について担当課長の説明を求めました。

市税の個人分について三億一千四百三十三万三千円、本年最
終補正に計し二五%の伸びを示し、七五%が給子所得者で不況
には特に関係なく二五%の伸びをみた。法人分については四千九百
八十五万三千円、数字的には多少少なく見たが大きな法人がはいの
ごとの影響はごくほとんど本年と同額とした。国定資産税に
おいて一億四千四百四十八万円は前年度の最終補正から一九%の伸び
と見、大きなものは宅地の増加、負担調整金平均三七%の伸び、
新增築改築五百棟消却等の増を見た。国有資産等所収市町村
交付金及び納付金千五百一十八万四千円は決定前の段階中で伸びはほとん
どみなかったが、電気の社会が多少増額にのびると思う。軽自動車
車税九百七十七万七千円は前年より十六万九千円の減、これはバイク

等の廃車が多いためである。市では消費税七千四百八十八万七千四百は前年より最終補正より一三%の伸びで、売り上げ本数の一〇%単価十一銭九厘の二つの増を見込んだ。電気ガス税三千九百三十二万四千は前年より最終補正に対し五%の伸びをみ、免税点の引き上げは一般の伸びがあるが影響はほとんどない。都市計画税六千五百七十五万円は前年より最終補正から三三%の伸びをみた。これは宅地四万坪の増、新增改築の増、一部負担調整の増等である。地方譲与税のうち自動車重量税が七百五十万円、これについては昨年の補正で二百五十万円を計上し、年三回分の推計により三倍を計上した。自動車取得税交付金二千五百万円は売り上げ本数の関係から前年度と同額とした。国有提供施設等所在市町村助成交付金等八千二百万円、施設等所在市町村調整交付金二千四百万円は四十七年度国の予算の増額にそってそれの増額した。地方交付税二億三千万円は過去の実績から伸びが少ないが国の法人税の伸びの倍のものと。四十八年度の土地開発基金等の中止によるものがある。交通安全対策特別交付金で二百五十万円は交通反則

金によるもので流動的であるので前年度と同額とした。分担金及び負担金、民生費負担金は児童措置費負担金千四百十三万三千四百、八千八百四十円の減額は保育費の措置中の各階層別が変更になつたものである。使用料及び手数料は福祉会館、市民会館の使用料は昨年の実績をみて計上した。市営住宅使用料については賦課使用料基本額の一四〇%に当るものの月収の限度額が引き上げられ対象者の減によるもので十六万九千四百の減額、水泳場使用料は実績による減額などである。その他各に事務の手数料を実績により計上した。国庫支出金の民生費分では各種福祉行政の増加による増、土木費分では防犯道路一九五号の補助、中央幹線の一〇%補助、防犯貯水構五基、基準単価に対する二分の一補助、教育費分の要保護、準要保護の児童に対するもの、十六小学校の文部、防犯の補助、仮称市民体育館建設費補助四百二十万円等である。国庫委託金で基地提供の委託金として七十万円、国民年金事務委託金、児童扶養手当、曰雇の健康保険委託金等である。都支支出金の民生費において九百三十三万八千

月の減額は各種の福祉行政について補助金と負担金を区分したた
めのものゝ。保育所・措置費等補助率は変わるものではない。市
町村振興交付金は都府県財政の状況により算定したものゝ、この算
定では昨年より減額と成つてゐる。民生費都の補助金は児童福
祉補助金が負担金との組みかへによる増額である。児童補助
の二十三万七千円の減はインフルエーサの予防接種が出生後六月以上と
なつていたものが三才児以上となつたための減額である。土木費の
都の補助では市道五二一号線の舗装、交通安全施設等で千
百二十九万余円、消防費補助貯水槽三基分の補助八十七万余円
等である。教育費都補助で千八百六十万円の減、これは昨年
は三小と六小があったが本年は小の校では六小のみの対象となつたた
めの減額である。都委託金の大きなものは都税徴収委託金千百
七十二万四千円、都公害防止条例にもつづいての業務委託金二百七
十万円等である。財産収入で貸付収入として二万二千円の減は
商工会使用分の減額である。繰越金三千万円であるが執行残、
特別交付金等を含めまして最終的には五千万円ぐらゐになると思

う。預金利子百万円の減は実績によるものゝ、中小企業振興
資金貸付元金収入二千万円は預託金として増加したものゝ本年度未
には一たん返還されるものである。収益事業配分金一億四千万円は
本年更から初めて予算に計上したもので収益事業組合規約によ
とつたものである。雑入で国民年金印紙売払代金四千四百五十三万
余円は先で同額を印紙購入代として支払われ、総額の二八％
百二十四万余円が売リさばき手数料である。市債として教育債が
六小の増築債、市民体育館建設債が九千七百七十万円を計上、
以上を入については確定的なものを見込んで予算計上したものである。
という説明があり、次に質疑に入りました。

地方税法による減免対象者は市都民税十二件で八万二千円、固定
資産税十一件で六万円、基地交付金に対して市で課税した場合
に固定資産税におよぼは八千八百九十一万六千円、都市計画税では
四千四百十一万三千円、この額に対する基地交付金は五二、六六％
である。飲食従業員の所得については四十七年度について受け付け
で賦課決定はこれからであるが、所得税額は市で受けてゐるもの

について、曰当等の伸びはあるようである。五号補正からの市税の伸びは10%とみたが個人所得は総体の二三%をみたが、この伸びはあるものと思う。地方税法の改正による各種の控除額を二十四円とみたが、法人の場合は不況等によりあまり伸びをみていないが、景気の回復によつては伸びると思う。固定資産税の課税対象は、業を進めてゐるが今後総体的に四〇五%の伸びはあるものと思う。過去の実績から需用費三%程度あり昨年度の執行残はありものと思う。農地の宅地なみ課税は国が施行が変更なるやも知らない動きがあるがこれについてはどうかとの意見に対し、昨年度例改正を一筆ごとの算定をしたところA農地の割当は五十三十七坪、三十二筆になり四十七年度の税額は十八万八千四程度のもので、自治省では既定方針どおりやることになつてゐる。中小企業振興資金預託金は市内五の金融機関に預託してゐるが、本年度末には主として入ってくる。市営住宅の使用料は据え置きである。農地の宅地なみ課税による児童遊園地としての申し出者は武蔵野に二件ほどあるのを減免してゐる。市民体育

館の補助の運動をさいたい。

収益事業収益による振興交付金の減

額は現在ほとんど市の市が削減しており影響はないことではない。地

方交付税は福生市ではこの五級地になつてゐる。これらの格付け

は都市化の度合い、人口密度等によつて異なるので国の基

準にしたがう以外はない。国税三税の三三%配分の増額を市長

会で特に運動させたい。基地排水工事は基地とともに市にお

いても利用するもので市においても施行すべきであると考えてゐる。

電柱等の道路占有料徴収は検討中である。土地開発基金の

打ち切り理由は四十四年から三年間に大都市周辺の用地先行投資の

経費として交付税としてこなくなつたが、来年度は地方交付税は

い迫し財政運営がきなくなり絶対必要なものにまわすことにした

ためである。これらの地方自治法第二百四十一條の規定により条例

で定め土地開発基金として積立てて土地を購入するが、これは行

政目的には使用できず予算措置として買い出し行政目的物

を建てることになる。一等の傾斜があり次に才出に入りすした。

また最初に担当課長から順次説明を求め、議会費四千四百五

十四万余円、新規のものとして議員共済組合負担金として標準報酬月額額の百分の一の負担金十七万余円、総務費で一億二千八百七十一万円は職員の人件費、市役所の管理運営費、新たに人事管理費、文書費、広報費を設けた。財産管理費四百六十一万余円の増はと畜場あとのと畜場冷蔵庫のみを残しあと地の整備費、柳山の借地返還のための土地保償料等である。企画費では市の基本構想を作るための業者委託行財政実態調査委託料、交通安全対策費で交通安全指導委託料、交通標識等揭示委託料、赤色回転灯二カ所四灯の設置工事費等である。諸費では幼児教育負担軽減として五才児五百円、五才児未満三百円の市内幼稚園児保育料等である。徴収費では納期未納付者の増にとり補助金の増額、たばこ消費税増収のため市政施行当時行なったと同組合への補助、たばこ消費税増収のため郵券代値上りによる増、計杯マッチを配る。納税義務者に対する郵券代値上りによる増、計算事務の委託金、公図が和紙でできていたため折れ等不明になつていたのでマイラー製作による委託料等である。選挙費が常

時節費は重てん市に指定され都の補助をもらい選挙のないときでも明るい正しい選挙を推進するための啓発費である。市役所の庭に数に発指定地区の広告塔を設置する等である。市長選挙費では告示五月四日、投票五月十四日即日開票になるが、才一中学校に才八投票所を設置したい考えでこの経費を計上した。土木費のうち住宅費では住宅管理人一戸二十四円月額二八百円の管理人謝礼や古くなったたたみ等の取りかえ等である。非常備消防費では昨平四月改正した団長以下団員の報酬、三月三十一日改正による十五年未満の団員に対する記念品代、消防車動訓練にともなう警備戒等の手当、団員の用品代、消防車燃料代、消防服の十着分、分団活動費として一分団十六万五千円の交付金等である。消防施設費では分団施設管理委託料等が大きなものであるが、特に団新しいものとしてしましては才五分団詰所三十坪の新築工事、防火貯水槽等の借地補償料、羽村水所新築、人員増等による福生地区消防組合負担金等である。教育費の教育委員会費では委員会事務局の経費で、福生市育英会補助金三十万円等である。教育

指導費、校外指導、課外活動研究等。オ六小学校増築のための諸経費、債務負担行為の四十七年度分で設計管理委託料七百四十一、四八平方メートルの増築工事関係の備品購入代等である。中学校費の学校管理費は中学校二校の維持管理費、中学校医の報酬、校長交際費、生徒用の雨かさ購入代その他一中の暖房機取付工事、運動施設整備工事、附属備品の購入代、一中校旗作成代等である。教育振興費では中学生徒指導経費、各教科用消耗品、学用品、通学用品、給食費、校外活動、修学旅行、行事参加等の扶助費等である。給食管理費では小学校完全給食中学校ミル給食の管理費、品頒検査員謝礼、給食関係調理用の消耗品、燃料代、オ一、オ四小学校の改繕工事費、配送用の二トン車の購入代等である。社会教育総務費では社会教育委員の報酬をはじめ各種学級講座、研究会、市民文化祭等の講師謝礼、成人のついで記念品代、ホテル保護委託料、福祉会館の図書室の本の購入代、吹奏楽用楽器購入代、ボーイスカウト婦人会より社会教育関係の団体補助金等である。青少年問題

協議会費では青少年問題講演会講師謝礼その他青少年の地区活動の補助金等である。保健体育総務費では学校の夏季休暇時の水泳指導者報酬費、市民総合体育大会記念品代その他体育大会の経費等である。体育施設費では市営プール、武道館の経費、市営水泳場運営のため臨時職員の手賃金、薬品代、電気代水道料、開設時の夜間警備委託料、プレハブ建物の床下改良工事、武道館の管理費等である。市民体育館管理費は去年一月完成する予定で四十七年度の二月、三月分の維持管理費、燃料代電気代、清掃委託料、各種の保守委託料である。公債費では各地方債の施設事業について四十七年度分の元利及び利子の見込み額を一時借入利子は一億円、九十日分、七、三%日歩二銭予備費は総予算の〇、二%とした。——との説明があった。後質疑に入りました。

交際費について他の市とのバランスを考え額を増額すべきで今後一考を要するとの意見と、慶事経費にすべきであるとの意見、見で議論、この食事も自で負担とすべきであるとの意見も出された。

小中学校の要保護世帯、準要保護世帯は小中学校では要保護世帯が百六人、準要保護世帯四十六人、中学校では要保護世帯百五十一人、準要保護世帯九十一人である。学童一人当り四十六年度の経費は小中学校では給食費を含み三万四千円、中学校では二万三千円前後になり、学校建設費を含み七万七千円ぐらゐとなる。土地補償料百十二万六千円は永田橋柳山市有地約九十坪を貸してソコが、家屋の建っていない所を返してソコうたのの借地権的補償料である。行財政実態調査の業者は決めてソコが実績等も考慮して業務を推進してソコたい。青梅では基本計画ができて、羽村も契約中でソコを総合しての才がよりよいものができるものと思う。交通安全協会は任意団体であり交通安全協力団体で補助金より会としての出費が多額になつてソコ。日米親善治安関係の成果を議会に報告したい。日本人従業員についても要望等を入れることは有意義なこととして、公害等の問題は別にすべきだ。課外活動先生のスポーツに対する熱心意が足りないのではないか、又

施政方針の中にある冗費節約に対する同じについては、事務改善、合理化が必要で、取員もこれに対する姿勢が必要で、一例をあげると自動車、バイク等は集中的に管理等合理的に利用するようにしてソコ。パートタイマーの賃金については季節的に事務が増加するものについて年度当初協力してもらい予想を立てて予算計上した。各種団体補助金については約一%で国では赤字団体は百分の三を越えてはならないとしており、当市はそれ以下である。消防の都委託については現在接滞中で四月中に組合議会と協議されると思う。調査の結果をみて検討してソコたい。希望としては四十八年度と考えるが委託の方が経費はかからないだろうと思う。市営住宅の都市計画に貸している家は当面強制施行もないので四月早々入居させたい。広域行政費八万四千十分少額すぎるので検討願いたい。金般的に取員の旅費が非常に多く、公務員の姿勢としてソコわいているので考えらいたい。たばこ自動販売機購入補助金五十五万円は十一名分のものである。小中学校給食費の父兄負担は千五百円である。人に増に対する学童数の増は小中学校二百二十一名増、中学校は

四十一名増で、文部省のクラス標準四十五名となつてゐる。福生市の場合には平均では小学校百ニクラス三十七名、中学校三十五クラス四十、四名である。育英資金の四十六年度実績は一月千五百円の十三名に支給し二十三万四千円である。教育費総体では体育館建設費を除く額では減額ではないといふことについて、一般需用費においては一〇%程度伸びてゐる。児童用図書購入代百十万円は一枚当り少額であるが生徒割りで出してゐる。競輪収益は体育館建設にあつてあり教育費を圧迫してゐるのではないが福祉会館の図書室等今後予算要求をし充實をはかつていきたい。夏季休校時のプールの指導等かつあい中であるが是非指導していただきたいと考へてゐる。クラブ活動は校内において強制ではなくやつていきたい。――等の傾聴があり起立採決の結果原案賛成五、原案あり当委員会としては決定した次第であります。何とぞ慎重審議のうえ当委員会長の報告とおりご不決くださるようお願いいたしますして報告いたします。

○議長（末次性男力君）　こゝより十一時十五分まで休憩いたします。

午後十時五十九分 休憩

午後十一時十五分開議

○議長（末次性男力君）　休憩前に引き続き会議を開きます。

○十二番（森田秀雄君）　先ほどの委員長報告の際委員会開会時間と午後九時のところを十時と由しあげたそうですが、午後九時と訂正させていただきたいと思ひます。

それから採決の数でございますけれども、賛成五、多数で不決と申しあげましたのが反対一、欠席一を加えて報告にすることにおとりはかり願ひたいと思ひます。

○議長（末次性男力君）　おはかりいたします。ただいま総務委員長から審査報告中に訂正願ひたい旨の発言がありましたか、これを承認することにお異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（末次性男力君）　異議なしと認め委員長長の訂正についてはご了承願ひたいと思ひます。

○二十一番岩田 博君 　それはいいとして、議案の報告書には千六十
時と書いてあるが、この訂正はどうするんだ、口頭の報告は訂
正はしたが審査報告書の方はどうするんですか、

○議長（末次性男君）　おはかりいたします。議案審査報告書の千
六十時も先ほどご了承願いましたように訂正願いたいと思ひますが、
いかに異議ありませんか、

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（末次性男君）　それではさよう決定させていただきます。

○議長（末次性男君）　次に建設委員長伊東忠次郎君

（建設委員長伊東忠次郎君登壇）

○建設委員長（伊東忠次郎君）　ご指名がございましたので審査報告
を申しあげます。

（議案審査報告書朗読）別添参照

続きまして本審査について補助的に説明を申しあげます。

本案は経済課、建設課、都市計画課の順に担当課長から

説明を求め、統計調査費では生活統計、商業統計、事業所

統計、工業統計の本年行なわれる経済課所管分の四統計調査費が

ある。農林水産業費では農業委員会運営費、農業振興費の

が年比九十二万円の減はアメリカヒに三トリの防除経費を緑化推進費に

うつしたところによるもので、家畜の予防注射経費、農協の農業、

共済事務委託料等である。緑化推進費では緑化と防除を主体とし

たものでアメリカヒに三トリの防除については市において対策をたて業者

や町会と話し合っていく。このため原動機付消毒機一台、手動式消

毒機を購入し貸し出しをしたい。又防除人夫の増強もしていく。

これらにとりなう薬品代、自動車借上代、燃料代等である。緑化に

ついては空地二十カ所に対する植木の購入代、出生児に市の木をくせいを

百人ほどみて記念苗木購入代等である。商工会補助金において従

来とあり人件費分三百一万余円のほか事業費分三十万円は半分を

一般事業費にあり半額を商工会の役にたつ売り出し等の補助にいた

したい。中小企業振興資金預託金は従来一千万円であったものを一
千万増額し二千万円としたのである。観光費では主に七夕祭り